

白杵市 施策評価シート
(令和4年度)

評価 担当者	課名	氏名	内線
	福祉課	大戸 敏雄	1500

コード	I-4-9	施策名	生活の安定と自立への支援
施策の方針	自分らしい笑顔輝く人生の自立を支える		
まちづくりの方針	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)		
5年後のめざす姿	さまざまな要因で生活困窮に陥り、地域での生活が困難になった人が、自身の力で自立した生活を送れる支援体制の充実を図ります。生活保護受給者の自立をめざします。認知症や知的障がい・精神障がいなどの理由で、財産の管理や日常生活等に支障のある人に対し、成年後見制度を活用し権利擁護を図ります。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護受給者が自立した生活を送れるように就労支援などを行います。 生活困窮者や引きこもりの対策として、自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の各種事業に取り組みます。社会福祉協議会と連携して、日常生活自立支援事業の普及にも努めて、市民が自立した生活を送れる支援体制の充実を図ります。 白杵市市民後見センターを中心として、認知症や知的障がい、その他の精神上的障がいがあることにより、財産管理や日常生活等に支障がある人たちを支えるための施策を強化します。 		

<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
生活保護受給者への就労支援者数	1年間に就労支援を行った生活保護受給者数(継続含む)	目標	人	20	21	21	22	23	24	
		実績	人	19	21	14	19			
		達成率	%		105.0%	66.7%	86.4%			
生活困窮者自立支援ケース数	生活困窮者自立支援ケースとして認定し支援プランを作成した人数	目標	人	32	35	38	41	44		
		実績	人	29	30	26	24			
		達成率	%		93.8%	74.3%	63.2%			
白杵市市民後見センター受任者数【累計】	白杵市市民後見センターが受任した人数	目標	人	40	42	44	58	62		
		実績	人	39	48	50	54			
		達成率	%		120.0%	119.0%	122.7%			
指標の分析		目標								
		実績								
		達成率	%							
<p>常日ごろから就労支援が可能な保護受給者(稼働年齢(65歳未満))の確認作業を行っています。今年度は、新規保護受給者となった方、或いは体調(健康状態)回復に伴い新たに就労支援者となった方がいたため、増加に転じました。生活困窮者自立支援においては、コロナ対策に関する各種給付金支給などの臨時的措置により、生活困窮者世帯の支援プラン作成件数は若干下げ止まりに転じていると考えます。社会福祉協議会が行っている日常生活自立支援事業(あんしんサポート)から成年後見制度の利用に移行する人が増加しているため、同じ社会福祉協議会が運営している白杵市市民後見センターが受任する人数が増加していると思われます。</p>										

<市民意識調査結果>

市民意識調査結果	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R4調査)	強化領域	2.55	1.99
市民意識調査結果分析	<p>令和4年度実施のアンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、取り組みの強化が求められています。</p> <p>生活保護受給者や生活困窮者に対する自立に向けた取り組みや成年後見制度の施策について、対象者が限定される事業ではありますが、その必要度は高いと認識されていると考えられます。その反面、情報発信が十分ではないため、取り組んでいる事業内容が市民に伝わり切れていないため、満足度が低くなっていると考えられます。</p>		

<次年度以降の課題>

令和5年度以降の課題	生活保護や生活困窮者自立支援事業はセーフティーネットとして市民生活に欠かせない大切な事業です。成年後見制度も認知症や知的障がい、その他精神上的障がいにより、財産管理や日常生活等に支障がある人たちを支えるための大切な制度です。市民に正しく理解してもらう広報、啓発に努める必要があります。また、地域の中で支援が届いていない方が潜在的にいることが予想されますので、社会福祉協議会と連携して、各地域の事情に詳しい区長や民生委員児童委員、福祉委員等との連携を深めて支援に繋がっていきたくと考えています。
------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円) ※人件費含まず			課長 評価	公共 5カ 年	他の 関連施策 コード
				R3年度 実績	R4年度 実績	令和5年 度年度 見込み			
1	生活困窮者自立支援事業	福祉課	○	29,942	30,152	30,152	継続	○	
2	市民後見センター委託料	福祉課		21,215	21,215	21,215	継続	○	
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				51,157	51,367	51,367			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	市民後見センター事業については、将来必要となる可能性のある若い世代の市民に対し先駆的に周知を図ることにより、市民全体に周知に繋がるよう考えています。より多くの市民に周知を図ることで、年齢を問わず早期の段階で、少しでも支援に繋げることができる取り組みとなるよう推進していきます。生活困窮者自立支援事業は、すでに潜在的に困窮している市民がいると予想されていることから、民生委員をはじめ地域福祉関係者と更なる連携を図り、早期の支援につなげる取り組みを引き続き行いたい。	課長評価	目標を達するため、現状維持とする
順調			

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

実施年度	令和3年度 実施済	内部評価	-
------	--------------	------	---

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	-	評価のコメント	
------	---	---------	--

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--